学校経営方針･教育目標

1　本校の実態

（1）成章書院の歴史から

当地域には旧藩時代，武士の師弟教育を目的とした成章書院があった。成章書院は寛政５年（1793年）８月３日秋田の学館（明徳館）の申し渡しにより創設され，人事，指導監督，学習指導及び学業試験等が実施された。明治７年５月27日その書院跡に成章小学校が創設された。古くから教育熱心な地域で，現在も多くの人材を輩出している。また，これまで地域をあげて学校教育を盛り上げ，数々の実績を残している。

（2）校舎について

平成４年に現在地に新校舎が移転新築され，新しい教育の創造を目指したオープンスペース等も導入された。また，学校給食センターをはじめ，施設設備，教育環境等に至るまで様々な配慮がなされている。

（3）学区について

明治22年町村制により６町村を併せ，十二所町となり，昭和30年大館市に合併した。ＪＲ花輪線に沿って大滝温泉，十二所，沢尻の３駅を擁し，また，東西に走る旧国道１０３号線に沿って農村地域，温泉地域や住宅地域が点在している。児童の多くは，バスや自転車，車での送迎で通学している。学校の西側に隣接して建設された秋田県北部総合福祉エリアは，高齢者の居住，在宅福祉，世代間交流や生きがい活動の機能をもち，コミュニティーセンターも併設されている。また，放課後のふれあいセンターや知的障害援護施設もあり，これらを含めた諸施設等と連携・協力を図り，児童の健全育成の場，福祉教育や健康教育・ボランティア活動の実践の場として位置付けて様々な取り組みを行っている。

2　家庭の実態

（1）学校教育には熱心で，学校行事やＰＴＡ活動等に積極的に参加し，協力的である。

（2）３世代同居で共働きが多く，祖父母の教育力に負う面が大きい。

（3）地域にある史跡や伝統を活用した活動及び福祉関連施設との交流に世代を超えて取り組んでいる。

3　児童の実態

（1）明るく素直で，互いに思いやりの心をもって学校生活を送っている。

（2）自分の考えを表現するのが苦手である。また，人間関係が固定化しがちで切磋琢磨する機会が少なく，向上心がやや弱い。

4　経営の基本方針

（1）ふるさとキャリア教育を基盤に，自分の考えを伝え学び合い，ふるさとを支える気概をもった児童の育成に努める。

（2）児童が将来社会と関わり，自立してよりよく生きていくための素地（意欲，人間関係力，協働力）の育成に努める。

①確かな学力
②広く豊かな心
③健やかな体
④保育園・成章中学校との連携
⑤信頼に応える学校づくり

5　学校教育目標

主体的に学び，挑戦する子ども　～ かしこく やさしく たくましく ～